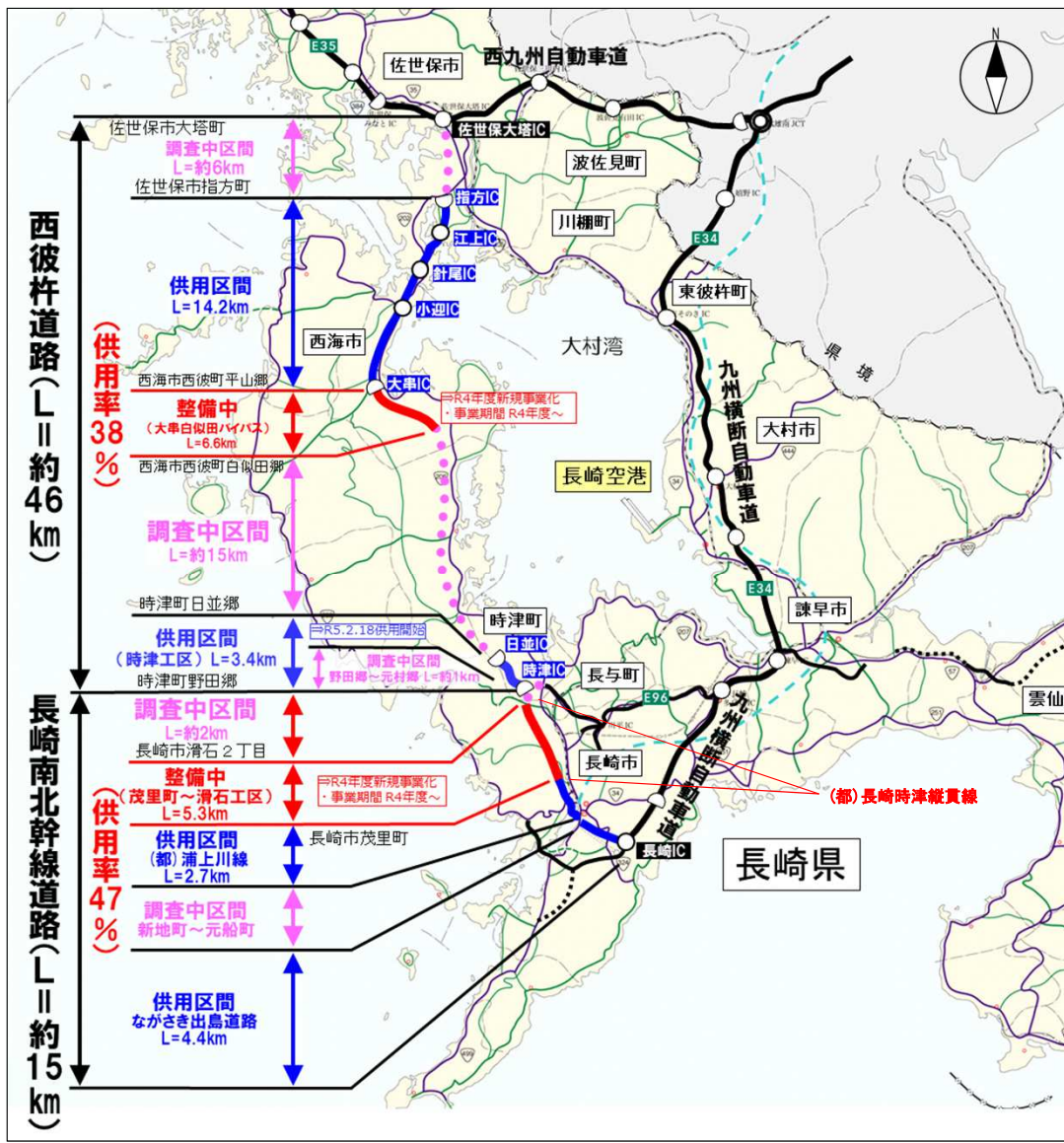


## 長崎南北幹線道路・西彼杵道路の効果

# 長崎南北幹線道路・西彼杵道路の概要



# ■長崎南北幹線道路・西彼杵道路の整備効果（1）

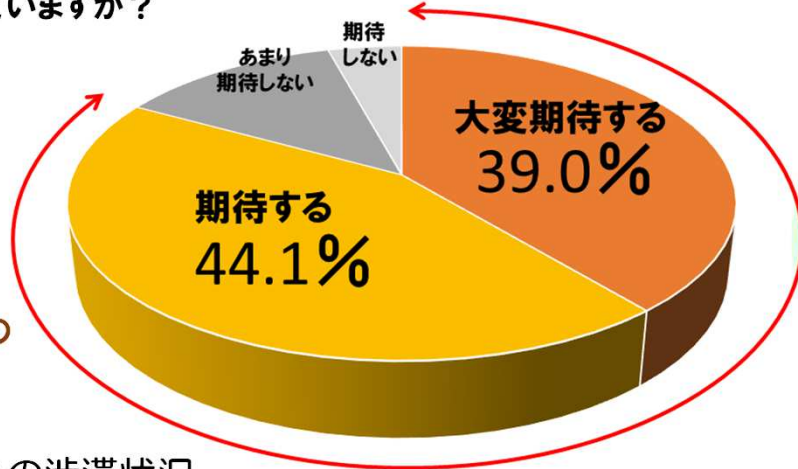
## 暮らし

北部からの通勤・通学者の推計約5.7万人/日の利便性が向上！

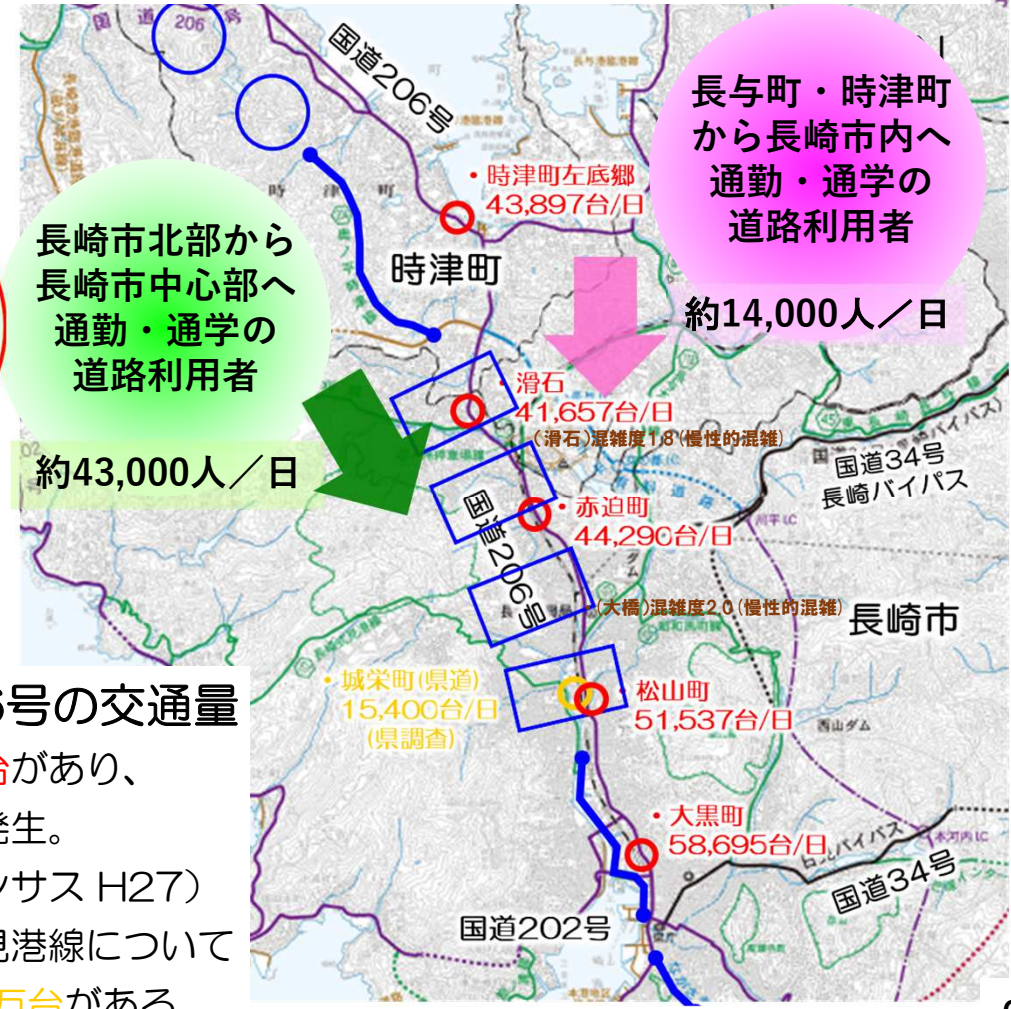
所要時間の短縮・定時性の確保による人口定住化に期待 (参考)長崎市松山町～時津町役場 23分⇒11分への短縮

Q:西彼杵道路・長崎南北幹線道路の整備実現に対して、どの程度期待していますか？

期待度  
83.0%



※3市2町約1,000人へのアンケート調査の結果



国道206号(赤迫付近)の渋滞状況



### ○国道202号・206号の交通量

・1日あたり4～5万台があり、慢性的な交通渋滞が発生。

(道路交通センサス H27)

※並行する県道長崎式見港線についても、1日あたり約1.5万台がある。

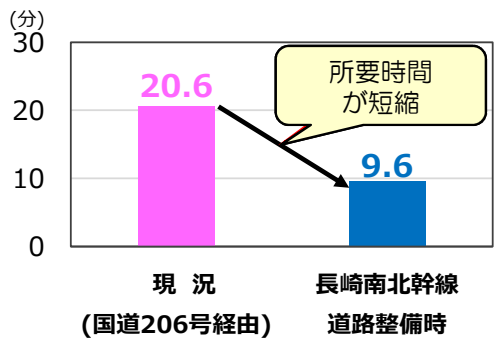
※通勤・通学者の約8割が道路利用者(車・バスなど)



# 長崎南北幹線道路・西彼杵道路の整備効果（2）

## 救急

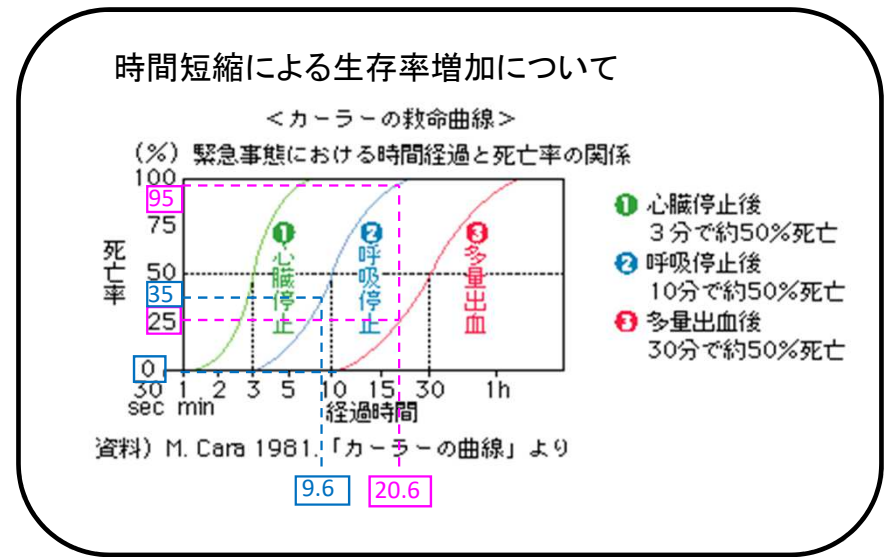
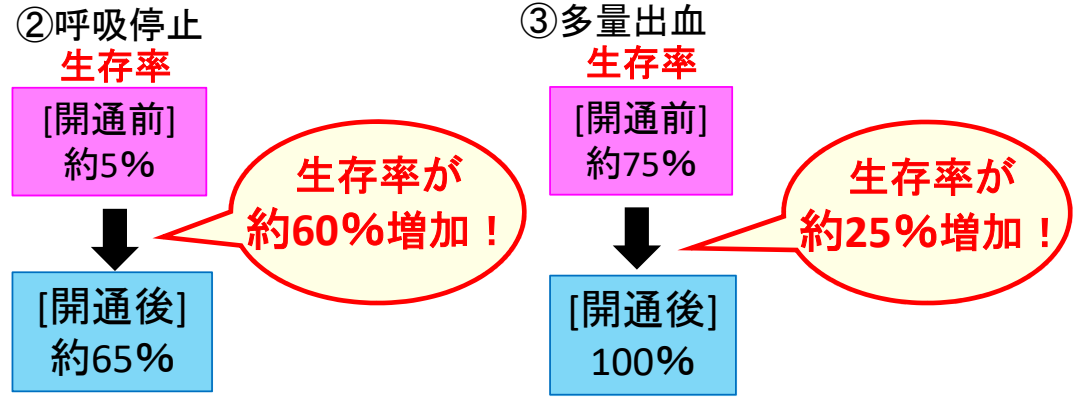
救急医療体制が大幅に改善！救命率が向上！



注) 所要時間の算出条件  
 【現況 (国道206号経由)】  
 H27道路交通センサスの昼間12時間平均旅行速度、臨港道路40km/h、市道30km/h  
 【長崎南北幹線道路整備時】  
 南北幹線道路60km/h、その他道路は現況と同様の速度設定

▲ 井手園交差点（時津町）～長崎大学病院間の所要時間【長崎県試算】

●滑石方面～長崎大学病院への救急生存率の増加



※(参考)西海市から長崎市・佐世保市への救急搬送 約1,100件/年

# 長崎南北幹線道路・西彼杵道路の整備効果（3）

## 災害・事故

国道の代替機能を発揮！  
（人流・物流における移動・輸送手段の確保）

西彼杵半島の大動脈である国道202号や206号は、  
交通事故や災害に脆弱！

- 県内の交通事故多発交差点ワースト20のうち、  
一般国道202号・206号（長崎市内）が10箇所を占める
- 平成30年～令和4年（5年間）の交通事故件数 187件  
（上記10箇所合計）  
（出典：県警察本部HP）
- 土砂災害などに伴う道路寸断が多数発生

(参考) 令和2年7月豪雨による被災



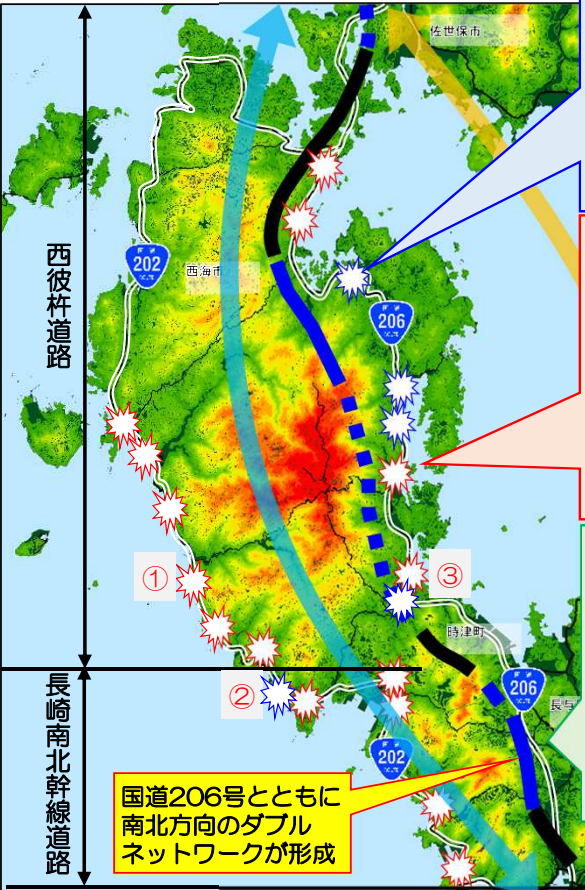
被災箇所①  
国道202号（長崎市外海地区）  
• 豪雨による路肩崩壊（通行止発生）



被災箇所②  
国道202号（長崎市外海地区）  
• 豪雨による道路冠水



被災箇所③  
国道206号（長崎市琴海地区）  
• 豪雨による道路冠水（一時的に通行止発生）




西彼杵道路  
長崎南北幹線道路


国道206号とともに  
南北方向のダブル  
ネットワークが形成

昭和57年長崎大水害以降の災害発生箇所


大雨による冠水被害



土砂災害による道路閉塞



交通事故多発地点の交通渋滞状況



凡 例	
☀	大雨による冠水被害箇所
💣	土砂災害による道路閉塞箇所



# 長崎南北幹線道路・西彼杵道路の整備効果（4）

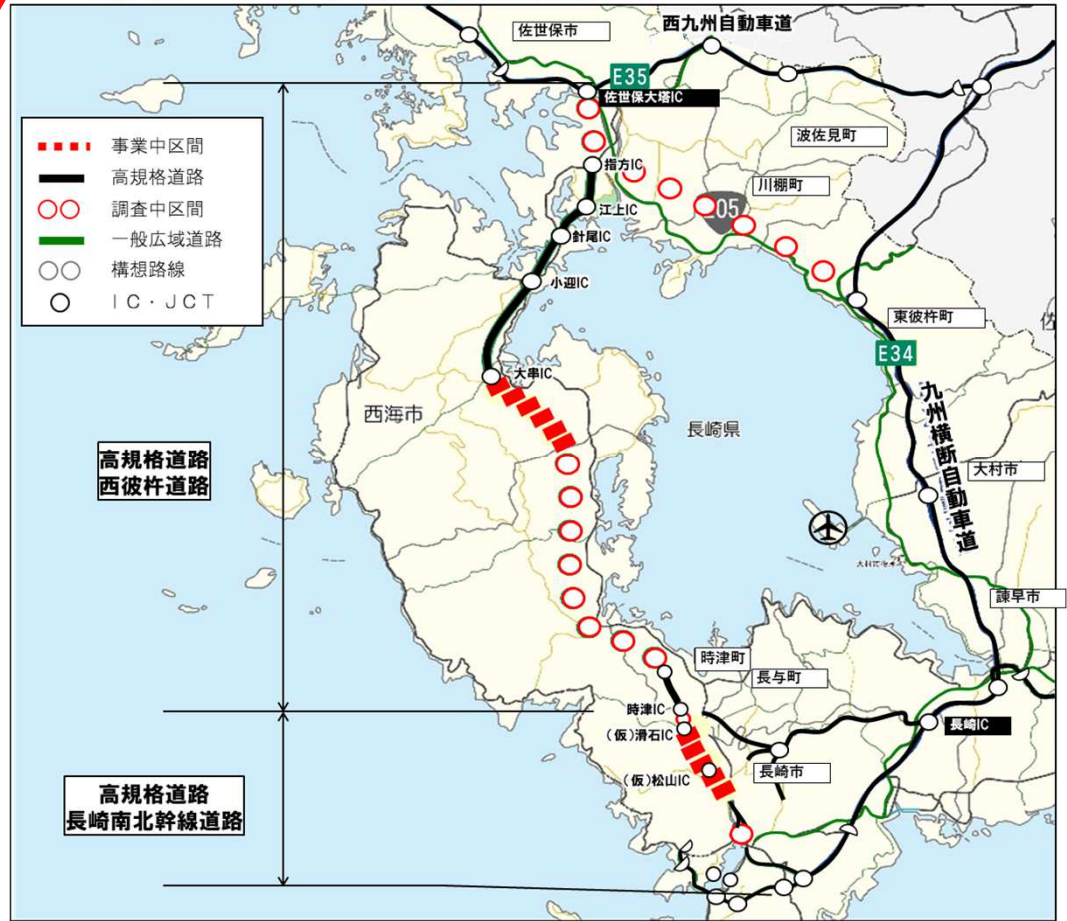
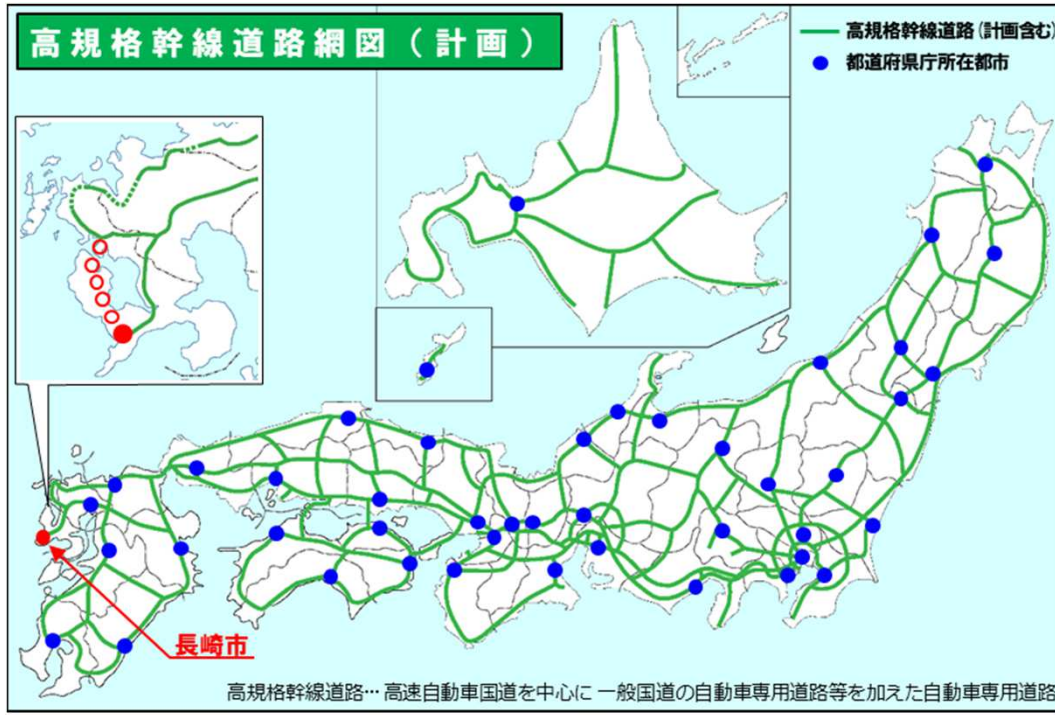
## 災害・事故

長崎市は全国の都道府県庁所在都市の中で、唯一のシングルネットワーク！

- 長崎県以外の都道府県は高規格幹線道路によるダブルネットワークが計画されている
- 熊本地震等の大規模災害時に県外から県都につながる道路が寸断されると救助・支援活動に大きな支障



高規格道路によるダブルネットワークの構築により災害時の緊急輸送が可能に！

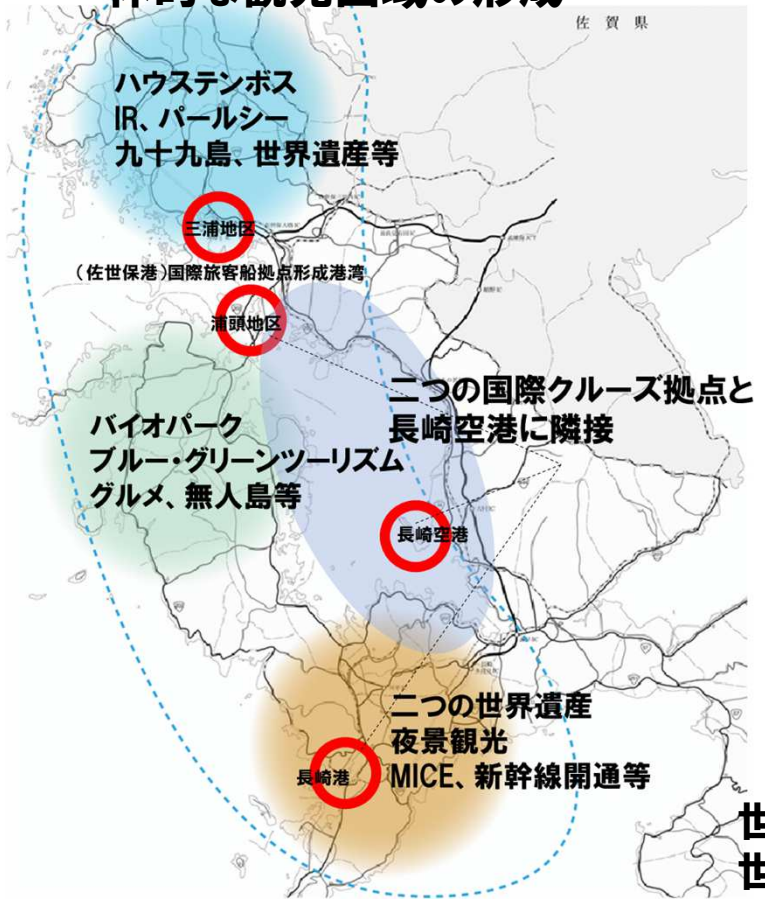


# 長崎南北幹線道路・西彼杵道路の整備効果（5）

## 観光

市民の交流が促進。日帰りレジャー等の増加による  
**経済波及効果年間約100億円**

1時間圏内で移動可能な  
 一体的な観光圏域の形成



西彼杵道路・長崎南北幹線道路の整備により実現する  
 5つの特色を持つ広域観光圏

- ハウステンボス+長崎市内観光の融合
- 3つのエリアが繋がる「世界遺産ツーリズム」
- 共通資源である「大村湾」の活用と  
ブルー・グリーンツーリズム+グルメゾーンの形成
- 日本が誇る国際クルーズの“メッカ”の形成
- MICE+IRを活かした世界水準の観光地づくり  
（次世代型インバウンド観光の実現）

一体的なマーケティング  
 プロモーションの展開



世界と繋がる二つの国際港を持つ1時間圏内の国際観光ゾーン。  
 世界遺産+MICE+IR+クルーズ+歴史・文化・グルメが凝縮するエリアが完成 6



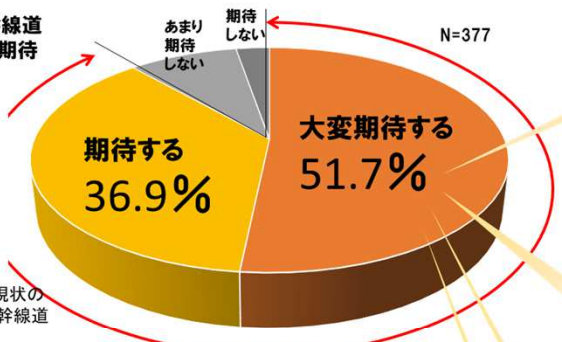
# 長崎南北幹線道路・西彼杵道路の整備効果（6）

## 産業

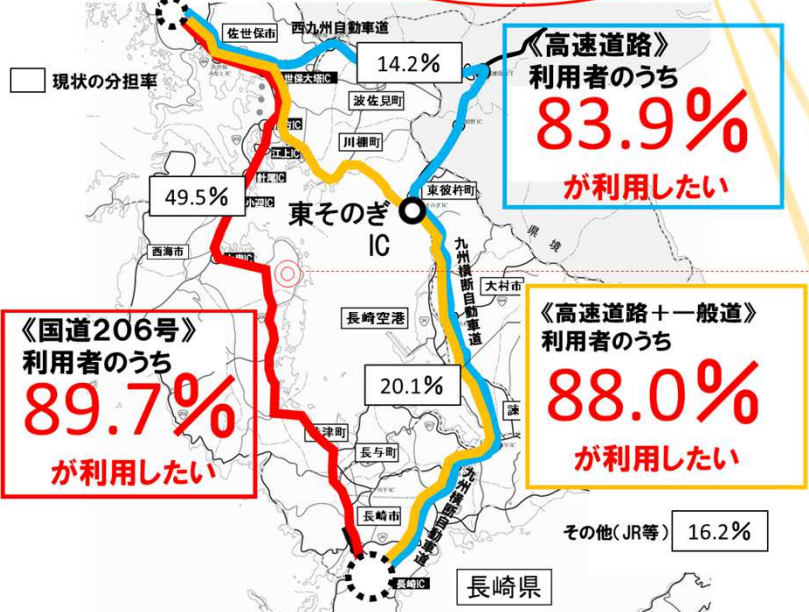
**付加価値増加額は年間約100億円。交通アクセス向上による企業立地の促進**  
**製造業、建設業、卸・小売業、運輸業など幅広い業界に効果**

Q:西彼杵道路・長崎南北幹線道路の整備に対してどの程度期待していますか？

**期待度**  
**88.6%**



長崎・長与・時津一佐世保間の現状の分担率と西彼杵道路・長崎南北幹線道路開通後の利用意向



※上記利用率は「毎回利用」と「たまに利用」するの合計値

(関連事業所等の主な意見 ※事業所アンケート調査より)

- 建設業**
  - 施工現場への到着が速くなり仕事の時間が長くとれることで事業効率が高まる。
  - 現場の下見など行き来がしやすくなる。
  - 移動時間の短縮により営業範囲が大きく広がる。新規開拓が期待できる。
  - 社員の雇用範囲が拡大し、人材確保が進む可能性がある。
- 卸・小売業**
  - 県内複数店舗間で通勤者の負担減。毎週末長崎から佐世保の店舗への移動の負担が軽減される。
  - 長崎は南北で商圈が違うので現在は一体感が薄いですが、実現したら事業の幅が広がるだろう。
  - ドミナント出店を考えやすくなる(小売業がある地域に集中的に出店する戦略)。
  - 人・物・金の流通が良くなり経済の向上が期待できる。
- 運輸・郵便業**
  - 運行回数を増加させる企画が可能となる。
  - 高速バスは経路を乗り換える可能性あり。運賃の値下げに繋がって利用者にもメリットが出るだろう。
  - 燃料費の削減、残業代の削減など効果は大きい。
  - 近年の大雨で長崎道や西九州道が通行止めになるケースが多く、補完ルートとして非常に重要である。
- 製造業**
  - 時間短縮効果により取引先との意思疎通が進む。営業範囲も大きく広がる。
  - アフター対応が迅速になり、顧客対応が充実する。
  - 雇用エリアが拡大し人材確保が進む可能性がある。
  - 新たな支店の開設を検討できる可能性がある。



**工業団地のアクセス向上による企業誘致の推進**  
 ・域内の中心部、西海市の工業団地へのアクセスの飛躍的向上。